

「災害科学国際研究所（IRIDeS）」に期待すること

ライター／ジャーナリスト 飯田 和樹

飯田 和樹（いいだ かずき）

1976年生まれ。同志社大学文学部卒業後、金属業界専門紙を経て、毎日新聞社に入社。中部本社、東京本社社会部、東京本社科学環境部など。

2018年からフリーランスのライター・ジャーナリストに。現在は、ヤフー株式会社のネットメディア「THE PAGE」で記者兼編集者として活動する。

日本災害情報学会の広報委員も。

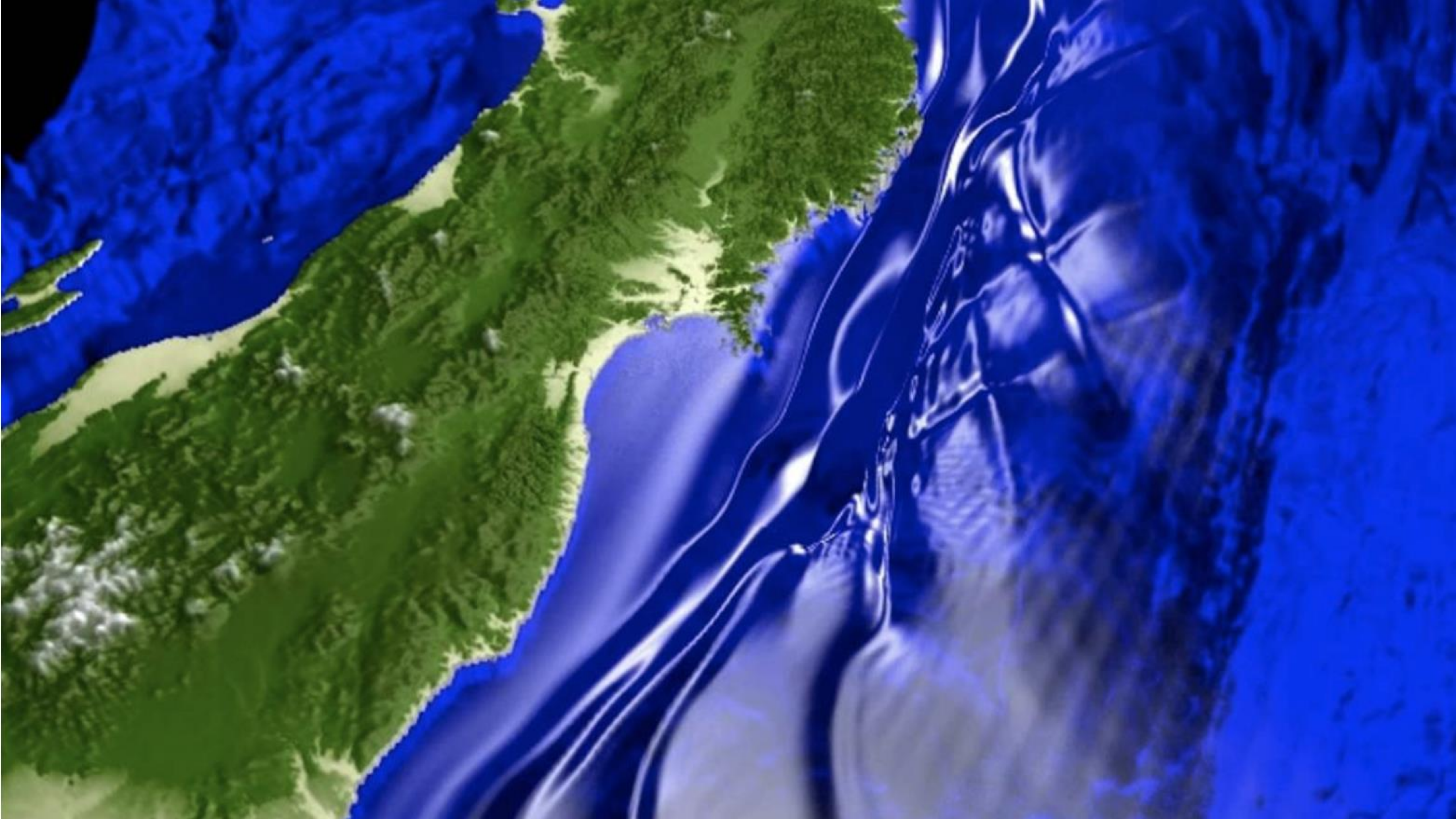
いただいたお題

「災害を科学する研究所として、社会は何を期待するか」

「災害を科学する」とは？

そして

「社会」とは？



シミュレーションの結果などは、
国や地方自治体の
防災政策のベースになったりする

国や地方自治体も「社会」

「IRIDeSには、さらなる深い研究と、そのような研究
成果の社会実装を期待する」

というのも答えの一つ

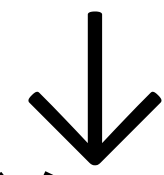
ですが



寺田寅彦

「『地震の現象』と『地震による災害』とは区別して考えなければならない。現象の方は人間の力でどうにもならなくとも『災害』の方は注意次第でどんなにでも軽減され得る可能性があるのである」（「災難雑考」、1935）

地震や津波が起こっても、
人がダメージを受けなければ災害ではない



災害を科学する上で、
人間を知ることがは必要不可欠

基金の目的、使途 ご寄附の方法、顕彰・特典 お問い合わせ
東日本大震災からさかのぼること4年、東北大学において、地域社会の防災・減災に関する学際的な研究チーム「防災科学研究拠点」が発足しました。当時、東北地方では高い確率で発生が予想されていた宮城県沖地震の対策が課題となっていたのです。

2011年、東日本大震災発生。その甚大な被害を前に、これまでの取り組みが十分ではなかったとの反省に立ち、組織のさらなる進化と拡充をめざしました。そして震災から1年を経た春、国内外から工学・理学・医学・人文科学・社会科学等の災害研究者が結集し、「災害科学国際研究所」（International Research Institute of Disaster Science：IRIDeS、イリディス）が誕生しました。以来、東北大学の一番新しい研究所として、世界最先端の災害研究を進め、東日本大震災の被害把握、巨大地震・津波のメカニズム解明、災害医学の進展、震災アーカイブの整備、防災教育の実践、国際防災指針への貢献など、

「社会」を辞書で引いてみると...

生活空間を共有したり、相互に結びついたり、影響を与えあったりしている人々の
まとまり。また、その人々の相互の関係。

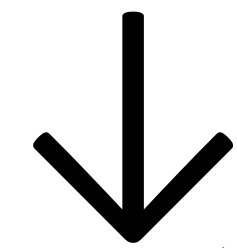
同じ傾向・性質、あるいは目的をもつ人々のまとまり。

(自立して生活していく場としての) 世の中。世間。

「社会科」の略。

(大辞林)

国や地方自治体は「同じ傾向・性質、あるいは目的を持つ人々のまとまり」で一つの社会



でもそれだけが社会ではない

“社会なんてない”

イギリスの元首相、マーガレット・サッチャー

大きな主語としての「社会」ではなく、
「社会（を構成する一人ひとり）」
が期待することは何か

量的調査と質的調査

この調査法は（中略）「マイノリティ」と言われる人びとの調査においてよく採用されます。マイノリティとは、世の中で差別されているひと、少数派の人びと、弱い立場にいる人びとのことです。これらの人びとは、たくさん出会うことが難しく、また母集団も確定できないため、（中略）調査の過程で出会った「当事者」のひとりの個人に話を聞く、ということは、非常に有効な調査法になります。（「質的社会調査の方法」有斐閣、20ページ）



質的社会調査の方法 （有斐閣、2016）

災害は社会が潜在的に抱えている
弱い部分をあぶり出す

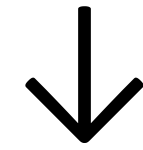
量的調査と質的調査

この調査法は（中略）「マイノリティ」と言われる人びとの調査においてよく採用されます。マイノリティとは、世の中で差別されているひと、少数派の人びと、弱い立場にいる人びとのことです。これらの人びとは、たくさん出会うことが難しく、また母集団も確定できないため、（中略）調査の過程で出会った「当事者」のひとりの個人に話を聞く、ということは、非常に有効な調査法になります。（「質的社会調査の方法」有斐閣、20ページ）



質的社会調査の方法 （有斐閣、2016）

社会は何を期待するか



「社会なんてない。一人ひとりが日常生活を送るうえでどうい
う問題を抱えているのかを知る」

そして

「その問題を解決するためにどうすればよいかを考えること」
を期待したい

あれ、災害は？

「災害を研究すること」
「日常を研究すること」
のボーダーレス化

専門知が軽んじられ、その結果、
民主主義自体が試されている



「社会契約論」を書いたフランスの哲学者、ジャン=ジャック・ルソーの似顔絵（いらすとや）



アメリカにおけるデモクラシーについて (中公クラシックス)

一人ひとりの日常を
幸せにする研究所に